

令和 5 年度

公立大学法人
和歌山県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）

学 生 募 集 要 項



公立大学法人和歌山県立医科大学大学院医学研究科

和歌山県立医科大学大学院医学研究科博士課程 アドミッションポリシー

本学大学院医学研究科（博士課程）は、高度先進的かつ横断的な大学院教育による先端医学研究の推進を通じて、自立して研究を行える高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識をもつ医学研究者や高度医療職業人の育成を目的とします。

そこで、医学研究科（博士課程）では、以下のような学生を求めます。

- 1 医学・医療に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人
- 2 医学・医療の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人
- 3 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人

1 入学期日

(1) 入学期日は、令和5年4月1日付けとする。

2 募集人員

専攻	領域	主 科 目（研究分野）	募集人員
地域医療 総合医学	地域保健医学	環境保健予防医学、公衆衛生学、地域医療マネジメント学	42
	総合医療医学	放射線医学、臨床病態解析学、精神医学、リハビリテーション医学 麻酔科学、救急・集中治療医学、総合内科学、法医学 医学教育・集団医療学、医療データサイエンス学	
	生殖発達医学	生殖病態医学、発達小児医学	
	緩和医療専門 医養成コース	緩和医療学	
構造機能 医学	形態機能医学	細胞生物学、分子機能形態学、システム神経生理学、統合分子生理学 機能調節薬理学	
	細胞分子機能 医学	代謝生物化学、分子遺伝学、発生制御医学、分子免疫学、分子病態解析学 生体分子解析学、病原微生物学、分子神経科学	
器官病態 医学	器官病態内科 学	糖尿病・内分泌代謝内科学、消化器内科学、呼吸器内科学、循環器内科学 脳神経内科学、腎臓・体内環境調節内科学、血液内科学、リウマチ・膠原 病科学	
	器官病態外科 学	胸部外科学、消化器外科学、脳神経外科学、整形外科学、脊椎脊髄病学 形成外科学、泌尿器科学	
	感覚病態学	視覚病態眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、口腔顎顔面外科学 皮膚病態学	
	病理病態学	分子病理学、人体病理学	
	がん薬物療法 専門医養成コ ース	腫瘍内科学	

注1. 修業年限は4年を標準とする。

注2. 入学出願者は、主科目（研究分野）を2つまで選択することができる。

この場合は、志望の順位を入学願書の所定欄に記入すること。

注3. 募集人員に社会人若干名を含む。社会人とは、官公庁、研究所、企業、病院等に勤務若しくは入学後勤務予定の者をいう。勤務中の者については勤務成績が優秀で、入学後もその職を有する者をいう。

一般入試

1 入学出願資格

- (1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程（修業年限6年のものに限る。）を卒業した者又は令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学院修士課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (3) 学位授与機構又は独立行政法人大学評価・学位授与機構により修士の学位を授与された者又は令和5年3月までに修士の学位を授与される見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、本学大学院医学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (8) 本学大学院医学研究科において、個別の入学資格審査により、(1)に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月までに24歳に達する者
- (9) 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部を卒業した者
- (10) その他本学大学院医学研究科において、(1)に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者

2 願書受付期間及び受付場所

(1) 願書受付期間

受付期間	令和4年9月21日（水）～令和4年9月30日（金） ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前9時から午後4時まで
------	--

* 郵送による場合も、同期間内に必着のこと。

(2) 受付及び試験事務取扱場所

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班 TEL (073) 441-0702

3 出願手続

出願者は、下記の提出書類を取り揃えて本学学生課に提出すること。郵送する場合は、必ず書留便によること。

また、事前に志望主科目（学位論文作成の基本となる科目）の指導教員の承諾を得ておくこと。

問い合わせ先 和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班 TEL (073) 441-0702

提出書類	<ul style="list-style-type: none"> (1) 入学願書・履歴書・・・本学所定のもの (2) 志 望 理 由・・・本学所定のもの (3) 成 績 証 明 書・・・在籍又は出身大学長が作成したもの。ただし、本学医学部卒業（又は見込み）者は、提出不要。 (4) 卒業証明書又は卒業見込証明書（本学出身者は不要） (5) 大学院研究科修士課程修了（又は見込み）者は、その修了（又は見込み）証明書及び成績証明書 (6) 医師又は歯科医師免許証を有する者は、その写し。 (7) 写真2枚・・・出願前3か月以内に撮影したもの（正面上半身無帽で縦4cm×横3cm） (8) 受験票・写真票 (9) 大学院準備課程（M. D-Ph. D コース）修学者はその修学証明書 (10) 大学院準備課程登録者外国語試験合格者はその合格証明書
社会人（2募集人員注3.参照）は上記出願書類に加え右の書類も提出	<ul style="list-style-type: none"> ア 受験許可書 イ 出願資格審査申請書 ウ 研究活動歴 エ 研究計画書 <p style="text-align: right;">} 本学所定のもの</p>
検定料	<p>30,000円</p> <p>同封の振込依頼書を使用のうえ、金融機関窓口（ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、信用組合等）で振込み（電信扱い）のこと。 （振込手数料は、本人負担となります。）</p> <p>振込み後、入学検定料振込金受付証明書（C票）を、入学検定料納付書に貼り付けること。</p> <p>※ 本学大学院の修士課程を修了し、2年以内に引き続き大学院の博士課程に進学する者については、検定料を徴収しないものとする。</p>

※ 受験票の郵送を希望する場合は、受験票の返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を表記し、書留速達料金を含む809円の郵便切手を貼った封筒を同封すること。）

4 試験科目、試験期日及び試験場

期日時間	科 目	学科試験及び面接	語 学 試 験
令和4年10月19日(水)		14:00～17:00 基礎教育棟1階 講義室1	17:00～18:30 基礎教育棟3階 講義室2

- (備考) ア 集合時間・場所は出願者に別途連絡する。
 イ 学科試験は、志望する主科目（研究分野）に属する系において筆記試験又は口頭試問を行う。
 ウ 語学試験は、「英語」とする。辞書は持ち込み可。（電子辞書は不可）
 エ 上記5出願手続の提出書類（10）を提出した受験者は語学試験が免除される。

5 合格発表

令和4年11月15日（火）午後4時30分

本学内に掲示するとともに合格者本人あてに通知する。

6 入学手続

手続き期間	令和4年11月22日（火）～令和4年11月30日（水） ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前9時から午後5時まで
提出書類	(1) 卒業見込みで受験した者は、卒業証明書(本学出身者は不要) (2) 在学誓約書 本学所定のもの (3) 写真2枚 願書と同一のもの
入学金	282,000円 ただし、本学大学院の修士課程を修了し、2年以内に引き続き大学院の博士課程に進学する者については、入学金を徴収しない。

* 期日までに手続を行わなかったときは合格を取り消すことがある。

7 授業料

年額535,800円（毎年5月、11月の2回に分納する。）

8 その他

- (1) 受験者は、試験開始15分前までに試験場に参集のこと。
- (2) 出願手続後は、理由を問わず、検定料は返還しない。
- (3) 入学手続後は、理由を問わず、入学金は返還しない。
- (4) 募集要項、願書等は220円の郵便切手を封入の上、本学学生課へ請求のこと。(返信用封筒不要) ※出願書類は、本学ホームページ (<http://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/youkou/index.html>) よりプリントアウト可能。
- (5) 入学金、授業料等の額は、改定されることがある。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。
- (6) 職業を有している等の事情により、標準修業年度を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する場合に、長期履修制度を申請することができる。申請者は、入学後一ヶ月以内に学生課窓口へ申し出ること。
- (7) 本学では、出願及び入学手続にあたって提出された個人情報、入学試験の実施、合格発表、入学手続及び入学後の学生生活関連業務において使用します。本学が取得した個人情報は、第三者に提供することはありません。
- (8) 過去の入試問題の閲覧については、学生課入試学務班（電話 073-441-0702）までお問い合わせください。

令和4年8月

公立大学法人和歌山県立医科大学大学院医学研究科

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

海外在住者特別入試

1 入学出願資格

令和5年3月まで日本国外に在住する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程（修業年限6年のものに限る。）を卒業した者又は令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学院修士課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (3) 学位授与機構又は独立行政法人大学評価・学位授与機構により修士の学位を授与された者又は令和5年3月までに修士の学位を授与される見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、本学大学院医学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (8) 本学大学院医学研究科において、個別の入学資格審査により、(1)に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月までに24歳に達する者
- (9) 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部を卒業した者
- (10) その他本学大学院医学研究科において、(1)に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者

2 願書受付期間及び受付場所

(1) 願書受付期間

受付期間	令和4年9月21日（水）～令和4年9月30日（金） ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前9時から午後4時まで
------	--

* 郵送による場合も、同期間内に必着のこと。

(2) 受付及び試験事務取扱場所

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班 TEL (073) 441-0702

3 出願手続

出願者は、下記の提出書類を取り揃えて本学学生課に提出すること。郵送する場合は、必ず書留便によること。

また、事前に志望主科目（学位論文作成の基本となる科目）の指導教員の承諾を得ておくこと。

問い合わせ先 和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班 TEL (073) 441-0702

提出書類	<ul style="list-style-type: none"> (1) 入学願書・履歴書・・・本学所定のもの (2) 志 望 理 由・・・本学所定のもの (3) 成 績 証 明 書・・・在籍又は出身大学長が作成したもの。ただし、本学医学部卒業（又は見込み）者は、提出不要。 (4) 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学出身者は不要) (5) 大学院研究科修士課程修了(又は見込み)者は、その修了(又は見込み)証明書及び成績証明書 (6) 医師又は歯科医師免許証を有する者は、その写し。 (7) 写真2枚・・・出願前3か月以内に撮影したもの（正面上半身無帽で縦4cm×横3cm） (8) 受験票・写真票 (9) 大学院準備課程（M. D-Ph. D コース）修学者はその修学証明書 (10) 大学院準備課程登録者外国語試験合格者はその合格証明書 (11) 推薦状・・・1名以上の推薦状（日本語または英語） (12) 語学力を証明する資料・・・以下の内いずれか一つ。 <ul style="list-style-type: none"> ※試験日から2年以内のものに限る TOEFLPBT の成績通知書（500 点以上） TOEFLiBT の成績通知書（61 点以上） TOEIC 公開テスト（L&R）の成績通知書（590以上） （TOEIC-IP, TOEIC S&W, TOEIC Bridge は不可） IELTS(overall score) の成績通知書（5.5 以上） (13) 受入教員の承諾書・・・受入教員から提出 			
社会人（2 募集人員注 3. 参照）は上記出願書類に加え右の書類も提出	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none; vertical-align: middle;"> ア 受験許可書 イ 出願資格審査申請書 ウ 研究活動歴 エ 研究計画書 </td> <td style="border: none; vertical-align: middle; font-size: 3em;">}</td> <td style="border: none; vertical-align: middle;">本学所定のもの</td> </tr> </table>	ア 受験許可書 イ 出願資格審査申請書 ウ 研究活動歴 エ 研究計画書	}	本学所定のもの
ア 受験許可書 イ 出願資格審査申請書 ウ 研究活動歴 エ 研究計画書	}	本学所定のもの		
検定料	30,000円 同封の振込依頼書を使用のうえ、金融機関窓口（ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、信用組合等）で振込み（電信扱い）のこと。 （振込手数料は、本人負担となります。） 振込み後、入学検定料振込金受付証明書（C票）を、入学検定料納付書に貼り付けること。			

※ 受験票の郵送を希望する場合は、受験票の返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を表記し、書留速達料金を含む809円の郵便切手を貼った封筒を同封すること。）

4 試験科目、試験期日及び試験場

科 目	学科試験及び面接
期日時間	14:00～17:00
令和4年10月19日(水)	14:00～17:00

- (備考) ア 試験日時は出願者に別途連絡する。
 イ 学科試験は、志望する主科目（研究分野）に属する系において口頭試問を行う。
 ウ 試験はオンライン方式で実施する。詳細は試験日時とともに通知する。

5 合格発表

令和4年11月15日（火）午後4時30分

本学内に掲示するとともに合格者本人あてに通知する。

6 入学手続

手続き期間	令和4年11月22日（火）～令和4年11月30日（水） ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前9時から午後5時まで
提出書類	(1) 卒業見込みで受験した者は、卒業証明書(本学出身者は不要) (2) 在学誓約書 本学所定のもの (3) 写真2枚 願書と同一のもの
入学金	282,000円 ただし、本学大学院の修士課程を修了し、2年以内に引き続き大学院の博士課程に進学する者については、入学金を徴収しない。

* 期日までに手続を行わなかったときは合格を取り消すことがある。

7 授業料

年額535,800円（毎年5月、11月の2回に分納する。）

8 その他

- (1) 出願手続後は、理由を問わず、検定料は返還しない。
- (2) 入学手続後は、理由を問わず、入学金は返還しない。
- (3) 募集要項、願書等は220円の郵便切手を封入の上、本学学生課へ請求のこと。(返信用封筒不要) ※出願書類は、本学ホームページ (<http://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/youkou/index.html>) よりプリントアウト可能。
- (4) 入学金、授業料等の額は、改定されることがある。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。
- (5) 職業を有している等の事情により、標準修業年度を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する場合に、長期履修制度を申請することができる。申請者は、入学後一ヶ月以内に学生課窓口へ申し出ること。
- (6) 本学では、出願及び入学手続きにあたって提出された個人情報、入学試験の実施、合格発表、入学手続き及び入学後の学生生活関連業務において使用します。本学が取得した個人情報は、第三者に提供することはありません。
- (7) 過去の入試問題の閲覧については、学生課入試学務班（電話 073-441-0702）までお問い合わせください。

令和4年8月

公立大学法人和歌山県立医科大学大学院医学研究科
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

研究内容

専	領域	科目	指導教授	研究内容
地域医療総合医学	地域保健医学	環境保健予防医学	藤吉 朗 廣田 麻子 神谷 隆一	1 動脈硬化性疾患を含む生活習慣病の規定因子に関する疫学研究 2 認知機能低下・認知症の規定因子および循環器疾患との関 3 タバコ（いわゆる新型タバコを含む）の生体や社会への影響 4 既存データを活用した健康長寿に関する要因の検討 5 手腕振動症候群の病態解明と新しい診断体系の確立
		公衆衛生学	(教授選考中) 武田 好史	
		地域医療マネジメント学	上野 雅巳	1 包括的で総合的な地域保健医療サービスに関する研究 2 母子保健情報を活用したコホート研究 3 非感染性疾患（NCD）予防のための公衆栄養・疫学研究 4 保健医療分野における参加型アクション・リサーチ 5 予防と健康教育の理論と実証研究
	総合医療医学	放射線医学	園村 哲郎 牧野 誠司	1 画像診断における臨床的病理学的検討 2 画像下治療(IVR)の基礎的臨床的研究 3 悪性腫瘍に対する小線源治療 4 肝細胞癌に対する集学的治療 5 強度変調放射線治療(IMRT)の臨床的研究
		臨床病態解析学	松岡 孝昭	1 新しい臨床検査の開発に関する研究 2 生活習慣病の成因に関する分子生物学的研究 3 生活習慣病の合併症に関する分子生物学的研究 4 超音波検査を用いた画像診断に関する臨床的研究 5 動脈硬化症の評価に関する臨床的研究
		精神医学	紀本 創兵	1 死後脳組織を用いた精神疾患の分子生物学的研究 2 統合失調症・気分障害の脳構造・機能画像研究 3 Aiや機械学習などを用いた診断・治療法開発に関する研究 4 診断および薬効、副作用の血液バイオマーカー開発に関する研究 5 うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法の作用機序と臨床応用の研究 6 災害とメンタルヘルスに関わる研究 7 依存症や発達障害、児童虐待に対する疫学および臨床研究
		リハビリテーション医学	(教授選考中)	
		麻酔科学	川股 知之	1 麻酔機序に関する研究 2 痛みを含む体性感覚受容に関する研究 3 周術期ストレスに対する血管平滑筋機能変調に関する研究 4 周術期循環生理に関する研究 5 周術期神経機能に関する研究
		救急・集中治療医学	(教授選考中)	

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
地域医療総合医学	総合医療医学	総合内科学※	廣 西 昌 也	1 紀北地域における認知症コホート研究 2 紀北地域における認知症医療ケアニーズに関する研究 3 軽度認知機能障害 (MCI) 症例に対するマインドフルネス介入に関する研究 4 入院時認知症スクリーニングと医療安全に関する研究 5 疾患と認知症の関連に関する包括的研究
		総合外科学		(現在募集なし)
		法医学	近 藤 稔 和	1 皮膚損傷の微視的検査法の確立 2 皮膚損傷の受傷後経過時間判定に関する研究 3 皮膚創傷治癒におけるサイトカインの役割 4 薬剤性臓器障害におけるサイトカインの役割 5 ショック状態に関する細胞生物学的研究 6 心不全の分子メカニズムに関する研究 7 大動脈及び大動脈解離瘤発生の分子メカニズムに関する研究
		医学教育・集団医療学	村 田 顕 也	1 医学教育に関する研究 2 シミュレーション教育に関する研究 3 長期医学教育調査 (教学 IR) の研究 4 Active Learning の実践の研究 5 在宅医療に関する集団医療学の研究
		医療データサイエンス学	下 川 敏 雄	1 医学データに対する統計的機械学習法に関する研究 2 リアルワールド・データのための統計的方法の開発に関する研究 3 がん臨床試験のデザインに関する研究 4 医学データに対する (非線形) 適応的回帰モデルの開発に関する研究 5 空間疫学データに対するビッグデータ解析に関する研究 6 遺伝子統計学とがんゲノムデータへの応用
	生殖発達医学	生殖病態医学	井 篁 一 彦	1 婦人科腫瘍 (子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌) の新規治療法の開発 2 婦人科癌における Liquid biopsy を用いた網羅的遺伝子解析の研究 3 母子免疫および婦人科腫瘍免疫の寛容機構の分子メカニズムの解明 4 妊娠および絨毛性疾患における胎盤トロホブラストの研究 5 妊娠高血圧症候群と胎児発育不全の研究
		生殖保健学		(現在募集なし)
		発達小児医学	徳 原 大 介	1 小児の消化管・呼吸器感染症に対する粘膜免疫学を基盤とした粘膜ワクチンに関する研究 2 Fontan術後肝障害 (FALD) の病態生理とバイオマーカー・治療薬に関する研究 3 小児 IgA 腎症、ネフローゼ症候群に対する臨床治療研究 4 急性脳症におけるケモカインの役割 5 小児血球貧食症候群におけるバイオマーカーとしての HMGB1 6 川崎病の疫学、病因、病態 7 Stewart 理論に基づく酸・塩基閉平衡に着目した未熟児動脈管の閉鎖機序の解明
		小児保健学		(現在募集なし)
	緩和医療専門医養成コース	緩和医療学	川 股 知 之	1 緩和医療における身体的症状緩和に関する研究 2 終末期に出現するスピリチュアルペインのアセスメント方法論 3 在宅ホスピス普及に対する教育機関の関与に関する研究 4 オピオイドの副作用に対する研究 5 緩和医療に対する満足度に関する研究

(注) 科目欄の※印は紀北分院における設置科目である。

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
構造機能医学	形態機能医学	細胞生物学	金 井 克 光	1 胃エストロゲンによる血中中性脂肪値制御の研究 2 カベオラを介したレセプターの細胞内取り込みメカニズムの研究
		分子機能形態学	森 川 吉 博	1 神経発達障害（自閉症など）や精神疾患（PTSD など）の分子病態の解明 2 肥満とその関連疾患（2型糖尿病や脂肪肝）における病態の解明と治療法の開発 3 視床下部における摂食調節機構の解明 4 アトピー性皮膚炎の新規治療法の開発 5 感覚受容におけるシグナル伝達の分子メカニズムの解明
		システム神経生理学	金 桶 吉 起	1 脳活動の周期的変動と機能的結合による種々の脳病態の神経基盤の解明 2 個性、人格の神経基盤の解明 3 視覚性運動知覚の機序の解明 4 大脳皮質と視床のループ連絡における感覚情報処理機構の解明 5 慢性痛における下行性疼痛調整系の機能変化の解明 6 ストレスによる感覚過敏のメカニズムの解明
		統合分子生理学	中 田 正 範	1 摂食・エネルギー代謝調節機構の解析 2 膵β細胞からインスリン分泌機構の解明 3 メタボリックシンドロームの病態生理の解明
		機能調節薬理学	西 谷 友 重	1 Ca ²⁺ 制御タンパク質の各種疾患（循環器・神経・代謝疾患、がん）に対する病態的意義の解明と薬物治療 2 Ca ²⁺ 制御タンパク質を標的とした新規心不全治療薬の開発 3 ヒト心臓突然死の原因となるイオン制御因子の同定とテーラーメイド医療。 4 成体と子どもの心機能調節機構の相違と治療戦略
	細胞分子機能医学	代謝生物化学	井 原 義 人	1 タンパク質におけるマンノース付加修飾のグリコバイオロジー 2 分子シャペロンの生物機能研究 3 タンパク質凝集病病態における細胞外硫酸化糖鎖の機能解析
		分子遺伝学	井 上 徳 光	1 がんの微小環境形成の分子メカニズムの解明 2 補体関連疾患の分子遺伝学的メカニズム 3 新しい遺伝子疾患の病態解明 4 神経幹細胞の増殖・分化が関わる医学研究
		発生制御医学	(教授選考中)	
		分子免疫学	改 正 恒 康	1 免疫恒常性の維持機構とその破綻による病態発症機構 2 免疫アジュバントの作用機序の解明 3 炎症を制御する分子基盤、細胞生物学的基盤の解明
		分子病態解析学	橋 本 真 一	1 シングルセル解析法の開発と臨床への応用研究 2 ゲノム・オミックス解析を基盤とした悪性腫瘍、炎症免疫組織の病態解明 3 がん微小環境における細胞間相互作用の解明 4 肝炎ウイルスの発がんメカニズムの解明とその阻害剤に関する研究
		生体分子解析学	茂 里 康	1 生体関連分子の分析手法の開発とその構造決定 2 機能性分子の創製研究 3 生体内の分子間・分子内相互作用の研究
		病原微生物学	西 尾 真智子	1 パラミクソウイルスのアクセサリー蛋白の機能の解明 2 クリミア・コンゴ出血熱ウイルスモデルのハザラウイルスを使用したウイルス増殖機構の解明 3 ウイルス蛋白と宿主蛋白の相互作用の解明
		分子神経科学	平 井 秀 一	1 中枢神経細胞分化におけるストレス応答シグナル伝達系の役割に関する研究 2 中枢神経軸索再生を促進する分子機構の探索 3 上皮・神経組織形成を支えるシグナル伝達網の解析

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
器官病態医学	器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学	松岡孝昭	1 膵β細胞機能異常の原因遺伝子の抽出および解析 2 膵β細胞再生医療へのアプローチ 3 2型糖尿病の疾患感受性遺伝子の同定 4 2型糖尿病発症・進展予防のための早期治療介入研究 5 下垂体腫瘍における腫瘍増殖機構の解明 6 IgG4関連疾患における内分泌異常の病態解明と治療法の検討 7 2型糖尿病患者における甲状腺機能異常に関する前向き観察研究 8 甲状腺クリーゼの病態解明とモデル動物の確立
		消化器内科学	北野雅之	1 消化器疾患に対する内視鏡・超音波を用いた新規診療技術の開発 2 消化器癌スクリーニング法の開発と精度、効率向上に関する研究 3 消化器疾患の予後向上を目指した地域医療連携システム構築に関する研究 4 消化器癌の増殖、分化、転移の分子機構の解明とバイオマーカーに関する研究 5 消化器における炎症性疾患の病態生理の解明と治療薬の開発
		呼吸器内科学	山本信之	1 胸部悪性腫瘍に対する新規化学療法の開発 2 胸部悪性腫瘍に対する治療標的としての新規バイオマーカーの探索 3 慢性閉塞性肺疾患の病態解明と新治療法の開発 4 気管支喘息の特異的治療法の開発 5 炎症性呼吸器疾患の非侵襲的病態モニタリングの確立
		循環器内科学	田中篤	1 虚血再灌流療法後の冠微小循環障害の病態の理解 2 侵襲的冠動脈イメージングを用いた生体内病理学 3 動脈硬化進展における vasa vasorum の役割解明 4 新しい循環器診断ツールの開発
		脳神経内科学	伊東秀文	1 神経変性疾患の分子神経病理学的研究 2 疾患特異的 iPS 細胞と剖検脳を用いた神経変性疾患の病態解明 3 筋萎縮性側索硬化症の神経変性機序解明と新規治療薬の開発 4 パーキンソン病とその類縁疾患における黒質細胞死抑制と再生に関する研究 5 封入体筋炎の病態解明と新規治療法の開発
		腎臓・体内環境調節内科学	荒木信一	1 老化制御遺伝子 Klotho がサルコペニアに及ぼす影響と運動効果に関する研究 2 高リン血症が筋萎縮に関与する分子メカニズムの解明研究 3 糖尿病性腎臓病の新規バイオマーカー探索研究 4 高齢化社会における慢性腎臓病重症化抑制に向けた新たな治療戦略の探索研究 5 和歌山県における慢性腎臓病対策実態調査
		血液内科学	園木孝志	1 新規治療介入を目指した造血器疾患発症の分子機構の解明 2 新規治療介入を目指した同種造血幹細胞移植後合併症の分子学的、免疫学的解析
		リウマチ・膠原病内科学	藤井隆夫	1 全身性エリテマトーデスにおける精神神経障害の研究 2 関節リウマチにおける抗シトルリン化ビメンチン抗体の研究 3 関節リウマチ患者の生物学的製剤投与によるサイトカインの変動と抗核抗体、中和抗体の研究

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
器官病態医学	器官病態外科学	胸部外科学	西村好晴	1 冠動脈バイパス術におけるグラフト血流波形の分析 2 心臓血管外科領域における血流解析、エネルギー損失計算の術式への応用 3 弓部大動脈瘤に対する脳保護法の研究 4 虚血心筋の再生医療 5 肺癌転移の臓器特異性決定因子の検索 6 肺気腫の再生医療 7 乳癌に対する MRI を用いた新たな画像診断の開発
		消化器外科学	川井学	1 胃癌幹様細胞に対する癌治療用ウイルスの開発 2 直腸癌に対する抗癌剤放射線感受性遺伝子の解析 3 肝細胞癌におけるタンパクメチル化の影響 4 アディポネクチン動態からみた膵癌発癌機序 5 腫瘍抗原発現 iPS 細胞由来樹状細胞を用いた癌ワクチン療法 6 消化器癌の浸潤・転移における接着分子の役割
		脳神経外科学	中尾直之	1 悪性脳腫瘍幹細胞に対する治療標的分子の探索 2 治療抵抗性グリオーマに対する化学療法の分子薬理学的検討 3 根治切除不能髄膜腫に対する個別化分子標的治療 4 脳虚血および血管内皮障害における血管内皮前駆細胞の役割の解明 5 脳機能マッピング法の開発と脳神経外科手術への応用
		整形外科学	山田宏	1 電気生理学的脊髄機能モニタリング法の基礎・臨床研究 2 脊椎脊髄疾患における電気生理学的機能診断法の開発 3 脊髄後角細胞のパッチクランプ法を用いた疼痛伝達経路の解明 4 低侵襲脊椎脊髄外科手術手技の開発・研究 5 加齢変性運動器疾患の疫学研究 6 次世代運動器疾患画像診断モダリティの開発 7 脊椎体内固定インプラントの生体力学的研究 8 小児運動器障害の疫学研究 9 Muse 細胞を用いた運動器疾患再生医療の開発 10 各種末梢神経に対する単一軸索記録法を用いた異常感覚克服のための基礎研究
		脊椎脊髄病学※	中川幸洋	1 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体術の早期適応に関する臨床的研究 2 骨粗鬆症性椎体骨折に対する Balloon Kyphoplasty における Double Cement Application Technique の開発に関する基礎的臨床的研究 3 脊髄誘発電位を用いた脊椎疾患における除圧手術のエンドポイント策定に関する臨床的研究 4 成人脊柱変形手術における更なる低侵襲化を目的とした先端技術集約ストラテジーの臨床的検討 5 新たな低侵襲脊椎手術手技の開発 6 ロコモティブシンドロームへの徹底介入による健康寿命増進プロジェクト
		形成外科学	朝村真一	1 リンパ浮腫モデルを用いたリンパ管再生の視覚化の開発 2 リンパ浮腫発症における補体の分子構造の解明 3 静脈奇形モデルを用いた新規治療の開発 4 TRP イオンチャンネルを標的とした皮膚創傷治癒 5 顔面骨骨折に対する再生誘導治療の開発 6 インドシアニングを用いた皮弁血流の定量評価
		泌尿器科学	原勲	1 尿路生殖器悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術 2 精巣腫瘍に対する集学的治療 3 尿路上皮腫瘍の発生病序に関する研究 4 尿路結石症再発予防に関する研究 5 尿路生殖器悪性腫瘍に対する免疫遺伝子治療の基礎的検討 6 膀胱癌に対する BCG 療法の抗腫瘍効果のメカニズムに関する研究 7 膀胱全摘除術後の新膀胱造設術に関する臨床的研究

〈注〉 科目欄の※印は紀北分院における設置科目である。

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
器官病態医学	感覚病態学	視覚病態眼科学	雑賀司珠也 岡田由香	1 角膜創傷治癒に関する研究 2 糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜静脈分枝閉塞症などの眼底増殖性病変の研究 3 後発白内障予防に関する研究 4 緑内障治療に関する基礎的研究
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	保富宗城	1 上気道感染症の発症機序と難治化に関する研究 2 網羅的遺伝子解析による鼻咽腔細菌叢のダイナミズムに関する研究 3 経粘膜母体ワクチンによる新生児感染症予防の研究 4 頭頸部癌転移と癌幹細胞に関する研究 5 耳鳴の原因病巣の可視化と治療の研究 6 高齢者における人工内耳の有効性に関する臨床研究
		口腔顎顔面外科学	松村達志	1 口腔粘膜創傷治癒に関する基礎的研究 2 歯の形成機構に関する研究 3 歯原性腫瘍・のう胞に関する基礎的・臨床的研究 4 顎変形症に関する臨床研究 5 嚥下および構音障害に関する臨床研究
		皮膚病態学	神人正寿	1 膠原病のモデルマウスの作成 2 アレルギー性疾患の病態解析 3 ケミカルピーリングとストレス 4 自己炎症性疾患の病態解明 5 皮膚腫瘍の融合遺伝子の検索
	病理病態学	分子病理学	江幡正悟	1 がん転移の分子メカニズムの解明と新規標的分子の同定 2 がん細胞移植実験を応用したがん微小環境の機能解析 3 がんの進展における TGF- β ファミリーの機能解析 4 肉腫特異的キメラがんタンパクの機能解析
		人体病理学	村田晋一	1 組織・細胞形態異常の分子病理学的背景 2 間期細胞における染色体構造の解析 3 蛍光特性を応用した組織細胞化学的および分子病理学的解析法の開発と応用 4 診断病理学におけるパターン認識解析
	がん薬物療法専門医養成コース	腫瘍内科学	山本信之	1 悪性腫瘍に対する臨床研究の立案・実践 2 がん薬物療法の有害事象に対する支持療法の開発 3 悪性腫瘍に対する治療標的分子の探索と開発 4 悪性腫瘍に対する新規バイオマーカーの探索 5 ゲノム変異による発癌機構に関する基礎的・臨床的研究

令和5年度

和歌山県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）入学願書

和歌山県立医科大学長 様

貴学大学院医学研究科に入学したいので、所定の書類を添えてお願いいたします。

令和 年 月 日

〒 - Tel () -

住 所

氏 名

印

専 攻	領 域	主 科 目			
(第一志望)					
(第二志望)					
氏 名		生 年 月 日			
(ふりがな)		年 月 日生			
本 籍 地	都 道 府 県	外国 人 籍 国 籍			
保 証 人 (父母またはそれに代わるべき者)	氏 名	年 齢	続 柄		
	現 住 所				
入 学 に 関 し 諸 通 知 を 受 け る 場 所					
入 学 資 格	年 月		大 学	学 部 卒 業 (見 込)	

備考 (1) 願書記入の際は募集要項熟読の上記入洩れのないようにすること。

特に志望専攻学科目の記入に注意すること。

(2) 履歴事項は裏面に記入すること。

(3) 出願者は事前に志望主科目の指導教員の承諾を得ておくこと。

履 歴 書

	年 月 日	事 項
学 歴 ・ 高 等 学 校 卒 業 以 上		
職 歴		
賞 罰		

上 記 の 通 り 相 違 あ り ま せ ン

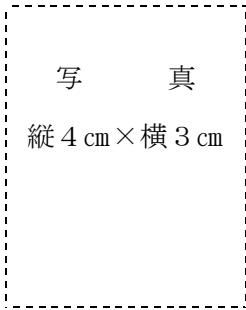
令 和 年 月 日

氏 名

印

令和5年度
和歌山県立医科大学大学院
医学研究科（博士課程）入学試験
写 真 票

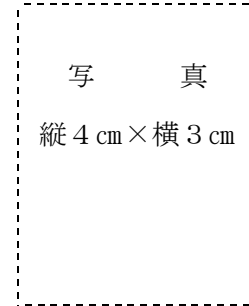
受験番号	※ 第 号
ふりがな 氏 名	
生年月日	年 月 日生
専 攻	
領 域	
主 科 目	



(注)※印の欄は記入しないこと

令和5年度
和歌山県立医科大学大学院
医学研究科（博士課程）入学試験
受 験 票

受験番号	※ 第 号
氏 名	
専 攻	
領 域	
主 科 目	
試 験 日	令和4年10月19日(水)
試験時間	学科試験及び面接 14:00～17:00 語学試験(英語) 17:00～18:30



(注)※印の欄は記入しないこと

切り離さないで提出してください。

博士課程用

和歌山県立医科大学大学院医学研究科

入学検定料納付書

受付番号	※	受験番号	※
受験者 (楷書で書いてください)			
住所			
(フリガナ) 氏名			
注意			
入学検定料30,000円を同封の振込依頼書で振込み、振込みを済ませた後、金融機関窓口で返還された書類のうち、入学検定料振込金受付証明書(C票)を、下欄に貼付してください。(取扱金融機関の収納印があることを、必ず確認してください。)			
入学検定料振込金受付証明書 (C票) 貼付欄			
(証明書貼付)			

(注) ※欄は記入しないでください。

受験許可書

氏名

生年月日

上記の者が、令和5年度和歌山県立医科大学大学院医学研究科(博士課程)の入学試験を受験することを許可します。

令和 年 月 日

和歌山県立医科大学長 様

所在地

機関名

所属長 (職・氏名)

(印)

令和5年度
和歌山県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）
出願資格審査申請書

令和 年 月 日

和歌山県立医科大学長 様

(ふりがな)
氏 名 ㊟

生年月日 年 月 日生 男・女

貴大学大学院医学研究科博士課程の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

志望する専攻 領域、主科目	第1志望	<small>専攻</small>	<small>領域</small>	<small>主科目</small>
	第2志望			
学 歴 (高等学校卒業 以降から記入)				
資 格	昭・平・令 年 月 日			
	昭・平・令 年 月 日			
職 歴	<small>期 間</small>	<small>最終学校卒業後の経歴</small>		
	昭・平・令 年 月～昭・平・令 年 月			
	昭・平・令 年 月～昭・平・令 年 月			
	昭・平・令 年 月～昭・平・令 年 月			
	昭・平・令 年 月～昭・平・令 年 月			
	昭・平・令 年 月～昭・平・令 年 月			
	昭・平・令 年 月～昭・平・令 年 月			
現 住 所	〒 Tel() —			
審 査 結 果 通 知 先	〒 Tel() —			

※ 添付書類（研究計画書、研究活動歴）

研 究 活 動 歴

		氏 名	
年 月	事 項		

注： 学会及び社会における活動等について、活動内容（研究発表等を含む。）及び期間を年次順に記入すること。

本様式に直接記入するか、本様式（A4判）に準じてパソコン等により作成すること。

研究計画書

	氏名	
研究課題		
1. 年次計画		
2. 大学における主たる研究日		

注： 上記項目について、1～4年の学年毎に記入すること。

本様式に直接記入するか、本様式（A 4判）に準じてパソコン等により作成すること。

【大学院博士課程入学試験用】

(切り離して納付してください。)

A票 (大学院博士入学試験用)

和歌山県立医科大学医学研究科 入学検定料

電信扱

振込依頼書

ご依頼日	令和 年 月 日	電信扱	手数料													
先方銀行	紀陽銀行 紀三井寺支店	金額	千	円	¥	3	0	0	0							
受取人	普通預金 0627227	内訳	通貨													
	公立大学法人 和歌山県立医科大学		振替													
整理番号	←この数字はフリガナの前に打電すること (フリガナ)※		取扱金融機関収納印													
B00002			<div style="text-align: center; font-size: 48px; font-weight: bold;">A</div>													
ご依頼人	氏名	※								領収印 又は 振替印						
	住所	※ 電話 ()														
		送信番号	3ヶ所押印													

※印欄は必ず記入してください。

金融機関使用欄

〔取扱金融機関へのお願い〕

- 必ず、フリガナの前に整理番号を打電してください。
- B・C票は、必ずご依頼人へお返しください。

(取扱金融機関保存)

手数料振込人負担

金融機関で切り離してください

B票 (大学院博士入学試験用)

和歌山県立医科大学医学研究科 入学検定料

振込金(兼手数料)受領書

令和 年 月 日	手数料								
金額	千	円	¥	3	0	0	0	0	0
先方銀行	紀陽銀行 紀三井寺支店								
受取人	普通預金	0627227	取扱金融機関収納印						
	公立大学法人 和歌山県立医科大学								
ご依頼人 (氏名)	※ (フリガナ)※								

※印欄は必ず記入してください

上記金額、正に領収しました。
【取扱金融機関】

銀行
支店

(取扱金融機関→ご依頼人) 大切に保存してください。

取扱金融機関収納印
B
3ヶ所押印

振り込み後自分で切り離してください

C票 (大学院博士入学試験用)

和歌山県立医科大学医学研究科 入学検定料

振込金受付証明書

金額	千	円	¥	3	0	0	0	0
先方銀行	紀陽銀行 紀三井寺支店							
受取人	公立大学法人 和歌山県立医科大学							
整理番号	B00002							
フリガナ	※							
氏名	※							

※印欄は必ず記入してください。

公立大学法人
和歌山県立
医科大学
医学研究科

(ご依頼人→大学) 貼付用

取扱金融機関収納印
C
3ヶ所押印

交通案内

- JR紀三井寺駅より徒歩約10分
- JR和歌山駅より和歌山バス利用
「医大病院」又は「医大病院前」停留所下車
約30分
- 南海和歌山市駅より和歌山バス利用
「医大病院前」停留所下車 約40分

